

廃炉・汚染水対策福島評議会(第4回)の概要

1. 日時・場所: 平成26年8月25日(月)14:00~18:00 (於:郡山)

2. 議 事: 廃炉・汚染水対策に関する情報提供・コミュニケーション、今後の対応など

3. 参加者 清水 いわき市長 遠藤 広野町長 松本 檜葉町長 宮本 富岡町長
遠藤 川内村長 渡辺 大熊町長 伊澤 双葉町長 松本 葛尾村長
菅野 飯舘村長 など13市町村代表
福島県、福島県商工会、農業組合、漁業組合等の代表

赤羽経済産業副大臣(廃炉・汚染水対策チーム事務局長)

経済産業省、環境省、文部科学省、原子力規制庁、東京電力等の代表

4. 主なご意見

[情報提供について]

- 事務局作成のパンフレットはわかりやすくコンパクトにまとまっている。高齢者の方はコンピュータを開くこともそう多くないので、広く配布すべき。
- 紙面のみならず、説明会の開催や映像コンテンツの作成もお願いしたい。
- 廃炉に向けた課題・進捗状況について、全体像がなかなか届いていない。対策の必要性・効果・課題をしっかりと説明すべき。
- 情報共有の中でも、トラブルの原因・対策については、速やかに提示いただきたい
- 地下水バイパスについては、希釈していないということをしっかりと説明していただきたい。

- 放射性物質の飛散について、健康に影響がないことを、しっかり示していただきたい。報道では、飛散したという情報しか伝わっていない。
- 放射性物質の飛散に係る避難計画の作成についても、情報提供していただきたい。
- 東電作成の廃炉汚染水対策を映像化したPR画像はわかりやすい。文字だけの情報では、日々の生活の中でわかりにくい。視覚的な情報が重要。
- 全国の立地自治体に対して、廃炉・汚染水対策を説明すべき。

[廃炉・汚染水対策について]

- 作業員の地位向上、待遇改善を図るべき。
- 1号機カバー取り外しについては、事前にスケジュールを発表していただきたい。風向き等を考えた作業を検討していただきたい。
- 1号機カバー取り外しについて、飛散させないことも重要だが、不測の状況に陥った際の対処について万全を期していただきたい。
- 国道6号線の定期的な除染作業を全面開通後にお願いしたい。
- 廃炉・汚染水対策の工程が明確でない。5年間の実施計画について示されれば、必要な作業員の人数などが明らかになるはず。
- 津波対策は後回しにすべきではない。
- トレンチが凍らなかった場合の対策を検討してほしい。また、凍土壁についても実証実験で凍ったことに安心せず、凍らなかった場合の善後策について検討してほしい。
- 若者世代の意見をどのように取り入れていくか考える必要がある。